第43号 1908. 8. 23.

（日刊）明治四十一年八月廿三日 京城新聞 （日�）第四十三號

京城新聞

●忠州旅行記（三）

三十日忠州 清風

今年は大學の試驗を受けらるゝや、無論通りましよう、非常な勉强家で夜は二三時間しか睡らず、軍隊が止めるけれども聞きませんと云ふ、幼少の時から勉强家でしたから、と僕が云ふ、話は此れにて杜切れたが、間もなく僕は暴徒の事を問ふた、すると、夜ゞ第一に韓國暴徒の總大將を生擒した時の話が始まる、其の暴徒總大將の部下が二千名に上る事や、十三年間日本軍人に遭はなかつた事や、部下の勇士七十名が決戰した事や、生擒された當時の模樣や尋問中に於ける、大言壯語や、彈藥を深山に隱匿し居たる事や、生擒したる小隊長が威狀を貫つた事等が、始んど一里の間話し續けられた、話しが丁度と清州に渡るべき小橋の河に出た、茲には先發隊の兵馬が未だ渡り了へず、丁度に河邊の廣野の彼所此所に散開して居る、も茲に來てから三時間も經つと云つて居る平日は水のない河が少しでも雨が降ると此れだから困る、其れに小さい舟一艘で渡すのだから、大に眼がいると云ふて居る、

空模樣は何となく怪しくなつた、彼所此所の山々には恐ろしい黑雲や旗雲がヌット頭はれて來る、暴徒の話は其れから其れへと移つて行く、喉は盛に渴きを覺して來る、去ればとて飲む水は勿論ない、唯青田より流れ來る水が道の傍を流るゝ位ひのものである、久しく徒歩旅行をしなかつた僕は、次第に足の痛さを覺へてモー三里も來たかと思ふ時には、速れより遲れ勝ちである、此れでも昔は健脚を以て誇りたものである如何に勇を鼓して見た處で昔は昔今は今だ、トテも速れと一所に歩けそうもない、速れは頻りに急がないかと云ふ、急ぎたいが喉は渴くし足は痛し、失敬だが君達少し先きに行つてくれ給へ、僕は後から行くからと芝生の上に仆れそうに腰を下した、友は困つたもうようと妙な面をして、モー日が暮るゝじやないか、此れから先きは僅か一里半だ、少し元氣を出して行かうと、さも迷惑らしい樣樣である、人の迷惑を知らず面して我儘でもあるまいと、大氣に体を動かして、やつとの事で足を踏み立てた、道の十丁も來たかと思ふ頃には、喉の渴きは愈々酷くなつた、トテモ水を飲まずにや居れずと人の止めるのも聞かず、道傍を流るゝ青田の水に面を挿込んだ、飲むも飲まむもない、自分なから驚く程飲んだ、此の時の氣持は緑陰一涼位ひの事じやない、君は亂暴だと面を見合せるが、僕は顏を平氣だ、どうだ清州はもう見へるかと云へば、冗談ぢやないと云ふ、困るなと云へば、どつちらの面に風の渡るのも見へる、夜の寂寞を破が困るんだい、と云ひ返す、暫くすると清州の山が見へると云ふ、どの山が清州かと問へば遙か向ふに薄墨で繪いたやうな山が其れだと云ふまだ餘程あるらしい、足の痛は益々酷くなる足の裏は熱が出て棒のやうになる熱を冷さうと水に浸せば今度は足が重くなつて、却つて歩けない、で僕は愈々りましよう、非常な勉强家で夜は二三時間決心して、ドウカ賴む君達先きに行つてくれ給へ、トテモ僕は君達と一所にや駄目だから、決して心配はいらぬと謝る、眞逆速れの者を後に一人殘して行く譯にもならぬので其れじや、徐々歩かうと歩調を緩めた其れでも僕には頗る困難である、も半里で清州に着くと云ふ頃には日は早や西に入りかゝつた、暴場に歸る馬子は鈴の音念がしく通つて行く、野良に出でし農夫は、鋤鍬を小川に洗つて居る、其の傍の柳に繫いである牛は淋しい聲を出して、歸路を促して居る、鵲は彼所の森此所の森に頻りに八釜しく鳴いて居る、護衛の兵は農夫を見る毎に瓜はないかと尋ねる、何れもないのであらう、果ては憤慨した、幾つとなく柳の小川を渡つて漸く河邊に出た、渡らうにも橋がない、困つて居た處に牛牽きが通る、其の牛に乘つて渡つた、其の禮に銅貨二三枚をやつたら、幾度となく嬉しそうな面付きして、コウマノソーを繰返す、後で聞けば渡賃は此の邊の習慣として拂ふのではないと云ふ、其れでコウマノソーを繰返した譯が解つた、清州は此の日市と云ふので頗る賑つて居る、店の區劃は井然として、嫌寸は構寸、金市は金市と云ふ風にちやんと區劃が定めてある、大凡市日一日の取引高は五千圓で出市人は五千人内外で先づ南韓中賑つて居るのは欽食店である、其所には牛飼の者も居れば、熟醉の者も居る、又盛に飯をパク付いて居るものもある、飲んで居るものもある、諍うもの語るもの茶碗の音沮の音頗る雜閙して居る、多くは立ちながらやつて居る、店先きには牛の頭や骨が亂雜にひろがつて飯には眞黑く蠅がたかつて居る、彼所此所の畔道は市歸りの鼻歌や馬の鈴音が面白く聞かれる、清州館てふ宿に着いた、トタンで造つた階段形の躰を漸く容るゝに足程の湯槽で其の底を焚いて湯を沙かすと云ふ珍無類のものである、夕餉の膳に付いたが、田舍には珍らしい御馳走がある、疲勞が甚だしいから寢やうとする處へ面會したいと云ふ人がある、一向に知らぬ人だが其の人は金融組合の理事で、僕が是非面會せねばならぬ人であつた、談は清州の金融事情から市日の模樣等耳新しい事を聞たが其の人は多分疲れであらうとて明日會談する事にして歸つた、虫の音は夜の靜まると共に一層近く聞へる月は冴へて田州の山が見へると云ふ、どの山が清州かと問へば遙か向ふに薄墨で繪いたやうな山が見へる、身体は綿の如くになつて居る僕も身に責任あれば安き夢も結ばれなかつた、

●囚屋の夢

（文苑）青楓生

夕風涼し青山の原、疲れはかはる破屋の光景、アヽ定めなきこの眞樂枯盛衰の運命が幾度か往きつ、復りつ吾が家の門、容易に入らん術もなかりしが、漸う意を決し、悄然として立ちし男三郎。

「アラれ父さんが……母さんれ父さんが、」駈け寄る君子、出迎ふ曾惠子、暫時無言、湧き來る熱涙滂沱たり。

「貴郎、さぞお淋しかつたでしやう」とれろ〳〵聲。

「曾惠さん辛かつたね……」

聲は亂れて二の句も出でず。

「お父さん妾お母さんと毎日〳〵泣いて許り居たわもうれ父さんは家に居んだわね、」見上ぐる吾が子のいぢらしさ、オヽと許りに抱きしめて、よゝと泣き崩れぬ。

靜寂破る靴の音、果敢なきものは夢ぞ、淡雪の夫の如しあゝ憐れ身は同じ冷き囚屋中。

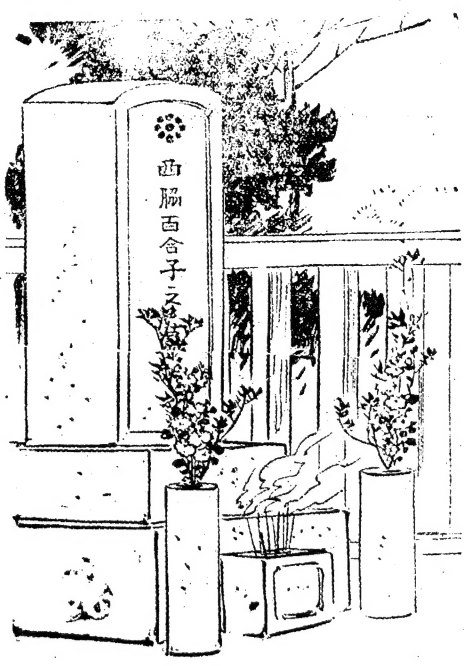
「……しかし百合さん、清子さんからた前の書面は確に受取つて、こ、この通り片時も放さず肌身に付けて、百合さんだと思つて持つて居る、百合さんが私を思ふて居て下れた親切は、（貴方の事は死んでも忘れはしません、假令離縁されました身の上でも私は貴方の妻だと思つて死んで參ります）こと、書いてある此書面で能く分つてる、よくもこれほど迄に思ふて下れたわ、わたしやあんまり悲しくて、涙に目を閉ぢられて讀むことも能きなかつた……そ、その代りに、百合さん、能く聞いて下れこ、この敏男は百合さんの親切に酬ゆるために、もう一生妻は娶らないで、獨身で暮す、獨身で……。」

と、云ひ了つて、また石新なる墓碑に凭れて心行くまでと泣き悲しむのである、心の故か石碑が動く如く見へた。

折から足音靜に、

新不如歸（八十七）

小說 篠原嶺葉著



敏男は尚も餘を撫けて、

「それから、滿州に赴つてからも、自分の体が何時戰死するかも判らないのに、自分の事なんか思つても見ないで暇さへあれば百合さんの事ばかり心配して、どうぞ凱旋するまでに病氣が全快して居て下れるやうに、原のやうに樂しい夫婦になれるやうにと、其事ばかりを眞個神機に祈つて居つた、すると幸ひにも再び參謀本部詰になる事になつて召還されたから、やれ嬉しやと、後は涙に消沿て、唯秋風の蘆樹の梢を渡る音のみ哀に聞ゆるのであつた。

「尾、尾花さん、能く參つてやつて下れました……貴方の辭を聞いて、私もこ、この通り貰ひ泣を爲ました、百合も滿足して佛になるでせう、百合に代つて私から厚く御禮を申します。」

と、涙ながらに現はれたは西脇義祐である尾花はハッと驚いて顏を仰げれば、思ひもよらぬ西脇であつたから、悲みに一層悲みを誘ふて、

「たゝ、西脇さん……ど、どうぞ私の心中を、さ、察して下さい。」

と、実如其手を把つて又も泣き悲むのであつた。

「御、御道理であります……。」

「厄に開けば、猿渡は其後ある投機事業に失敗して、昨日の榮華は今日の夢となり、家屋敷迄も他人手に渡す憂運に沈み、孫子は主なき子を孕みて、独に頼せぬ身の上となりしとか、噂に依れば足柄少佐の胤と云ふことだ、奈加子も猿渡の失敗と、敏男の獨身說が故慢の動機となつて、時々は百合子の墓にも參るとか聞いた。（完）

廣告

大日本麥酒株式會社

スーピロポツサ
スピエヒサア

第三回抽籤

八月廿五日午前九時京城倭城公園に於て抽籤擧行仕候何卒御來觀被成下度奉希候

（第三回抽籤一千六百八十本）

京仁麥酒組合

京釜線振威停車場は本月三十一日限り廢止いたし候

明治四十一年八月

統監府鐵道管理局

▲電三九〇番讓たし社内矢島▲

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
濱物問屋 大上商店
（電話二五一番）

煉瓦。瓦製造販賣
並製紙販賣
水登浦
煉瓦工場
内田泰藏
長島綱吉

齒科全般の治療
米國最新式義齒
京城本町六丁目（蕎そば横町）
米國齒科醫學博士 女醫 中村安子

西洋洗濯廣告
時下酷暑の候大方御客樣には益々御勇健奉大賀候降て弊所儀皆々樣の御引立を以て日に年に繁榮に赴き候段難有奉拜謝候弊所は御承知の通り當地に於ける邦人の西洋洗濯業の嚆矢にして己に二十有餘年來一意專心斯業に從事し可嘸迅速は洽ねく世人の認識せらるゝ所に御座候就ては邦人の發展に鑽み一層業務を擴張し精々勉强可致候間嶺々御用命被仰附度偏奉希上候也
京城壽町二丁目
大韓醫院
漢城病院
各國領事館
御用
有江洗濯所

株式會社第一銀行
電話番號
第一番 國庫部、營業部、當直用
第三三二番 國庫部、發行部、營業課用
第六一一番 支配人、調査部、文書課用
第三三二番 用度係、分析所用、臨時部、建築部用

電話五八九番
京城明治町三丁目
醫療理化諸器械製造販賣業
宮内府御用達 石田直次郎

歌米雜貨
洋酒食料品
洋煙草類
金銀屬美術品
直輸入商
京城本町二三丁目
辻屋
本店電話二四八
支店電話三六六

シガー・ブドウ酒・ブランデイー・洋菓子・果物カン詰類
ノット・ジャンピン・ウイスキー・キリンビール・タンサン水
卸小賣

東城新聞

拓殖と傳道

殖民地に傳道の必要なるは今更に言ふ迄もなし、然れども日本の政治家は宗教に冷淡にして、慢性的勢力の偉大にして社會に及ぼす影響を閑却する傾きあり、宗教家の傳道事業は單に佛陀や、基督の福音を宣傳するのみに非ずして、學校、病院、孤兒院、工場等に對する雄的經營をなし、人心に盡的慈安を與ふると共に、實在社會の組織に平和と恩惠を寄與するなり、殖民地の如き新たに社會を組織する所に於ては、傳道事業の効力は寧ろ政府の施設に優ることあり、殖民政策に幾多の經驗を有する英國に於ては、近世傳道事業の効力を認識し、殖民地官憲と宣教師との關係は益を親密を加ふに至れり、而して傳道會社の消費する一ペニーは、政府の節約したる一磅に該當すべしと迄言はるゝに至る、余輩も各國殖民地發展の狀態に鑑みて傳道事業の忽にすべからざるを切に感ずるものなり

韓國に於ける日本移住民の如きは、風俗習慣を異にせる韓人間に介在するを以て、殊更に日韓兩社會の調和を必要となす、故に傳道事業は啻に可らざるの機關なり、既に宗教を共にし、病院を共にし、孤兒院を共にするに於ては勢ひ其間の調和は圓滑に保たれざるを得ず、英米佛等の宣教師等の傳道事業に徴するも其効力の大なるは分明なり、若し夫れ日本の宗教家にして外國宣教師の如く、夙に韓國の傳道に從事し、彼の如く八道に其宗教を傳播し學校、病院等を建設して韓人等を教導せしならば、以來の暴徒も軍隊の力を藉らずして、能く宗教家の力に依りて鎮撫せしやも知る可らず或は云ふ日本の政治家が宗教に冷淡なる爲に一葦帶水の韓國に於ける傳道を開始せざりしと、亦は甚だ非なり、宗教家が政府の庇護に依らざれば傳道する能はずとするが如きは更に非なり、宗教は政治以外の別天地なり、茲に於て余輩は日本宗教家が甚だ意氣地なくして使命を完ふするの資格あるもの少きを慨歎せずんばあらず

今や拓殖會社は創立せられんとす、從て組織的に移住民は各地方に配付せらるべし愛々傳道事業の急を告ふるものあり、然るに我が宗教家の狀態は如何、佛教も基督教も共に振はず、僅に居留地内に蟄居して只其存在を證據立つるに過ぎず、斯の如き狀況にては到底殖民地に於ける新社會の生命となり、調和となることを望む可らず、余輩は佛教と基督教とを問はず、此新社會の要求に應じ毅然たる決心を以て起たんことを熱望するなり、本願寺の如きは東西兩派共に來りて布教せりと雖も、殆ど葬禮讀經の機關に過ぎざるの觀あるは余輩の憤慨に堪へざる所なり、我宗教家には卒先して此大任に當るものなき乎、一人の熱誠なる殉教者なき乎、余輩は我宗教家の憤起を望むや最も切なり

●對星樓茶話

△日本の借欵を償却するために猛烈なる絶叫と熱誠なる鼓吹とを以て集めたり國債報償會の勘財を私消したる送起錄は昨日を以て英領事より引渡し候由、

△廻る因果とは申し乍ら、日本排斥を目的とせるペッセル疑に纏起錄が今更ら公衆の勘財を費消せんとは頗る奇妙の配合に候はずや、

△國債報償は韓人が保護政府に對する初期の排日外交なりき、彼等は自國が帝國の保護に付せられたるを憤り、口を國債の償却に借りて排日外交を試みたりき、而かも其募集せる金額は遂に十萬圓を上る能はざりき、

△ペッセル及び梁起錄は其鼓吹と其愛國稅の徴收に聲援を與へたりし爲めに斯くは私消すべき權利ありと思惟したる可く、今更ら韓人の外交を弄し、其心腹の危險なる驚くばかりに候、

△左程に日本借欵が危險なれば、償却せんと帝國の希望する處に候、而かも韓人は國債の償却を目的とせるに非ずして彼等は斯る會を標榜し、斯る行動を大言壯語して、帝國に面當てと致したる迄に候、彼等は外交術を使用するの外實は格別の愛國心も無きか今更らペッセル梁起錄の如き山師新聞記者に利用せられたるは憫然に堪へず候、

△恐らく此愛國稅はペッセルの徒のみならず、自稱愛國者愛世家の鼻の下の建立物と相成りたる可く、當事者にして更らに歩を進めて調査相成候はゞ漢城の策士連乃至團体新聞社中には共通使用額を發見可致候、

△韓人は廣告と体面とに就て尤も面白ろき趣味を有せり、恐らく此愛國者の勘財も國際的に廣告せんが爲めに演じたる一種の演劇に外ならざる可く候、

雜報

●雨つゞき人權侵害

(萬朝報)

民長を宣撰に移して在留民自治の上に退歩の變制を施したる統監府は、其の變制を非難する言論に對して極度の抑壓を加へつゝあるに似たり

兩つながら是れ人權を侵害するの甚だしきもの也、我が國民は事の遙かに保護國域内に屬するの故を以て之を輕視すべきに非るも也

●大内代議士と民長官選問題

目下木浦に滞在中の代議士大内暢三氏は今回統監府令を以て發布せられたる居留民團長官選擧問題に對し其所屬たる憲政本黨本部に向ひ同問題に贊成なるや否を交渉中なるが同本部に於て贊否決定の上は直ちに入京大任に當るものなき乎、我宗教家には卒先して此問題に對する調査を遂る筈なりと又同代議士は代議士として政友會及び大同倶樂部其他の各政派に對し反對の意を通じ交渉中なりと當地知友に書信ありたり

●嚴妃の渡日に付

(某氏談)

英親王の生母に當る嚴妃が來る十月頃渡日するに付東京に於て女官連は歓迎準備に取掛れり云々とは東京電報の傳ふるところなるが余は右電報に何等の事實的根據なきを信じ從て該電の出所を怪しむものなり、假りに嚴妃にして傳ふるが如く渡日せんとするか、汗は英親王に面會の爲なるべく而れども朝鮮に於ては兎も角日本に於ては假令へ嚴妃が太子の生母なりとは云へ決して正當なる太子の母と認むることなかるべく從て折角渡日しても普通の韓婦人若しくは韓閥宮廷の一女官としての待遇を受くるに過ぎざるべく斯くしては實際に於て當人の嚴妃未だ不快に感ずべく亦日本側に於ても物足らず感ずることゝなるべきなり、仍て愚案を以てすれば眞に嚴妃にして太子の母として名譽の東上を爲さんとせらるゝならば、此際に太皇帝の御連合となり公々然と太子の母たるの資格を獲得せられ而る後渡日の事を決行さるゝが最上の策なるべし一片の東京電報業より深く信を措くに足らずと雖も豫測せざる間違等の起ることもあらば、其結果に於て面白からざるべきに付敢て愚見を述べ置くものなり云々

●釜山稅關埋立工事

(製氷所・冷藏庫の建設)

稅關魚類輸出入物場として既に今明日より埋立てせらるべき工事は度支部の事業にして今負港とする時は農商工部の管轄に屬す年度に於て繰變へを爲す必要あり是は元來前目貨田顧問の施設し置かれたるものにて着々進行の今日に至れる也埋立に屬する海面坪數は郵船會社地先より水産會社倉庫前迄一直線に約五百坪にて製氷所冷藏庫とを建設すべく其工費金二十萬圓にて一部は本年度内に竣工せん設計なり製氷器械は來月中に英國に注文せし分廻着の筈にて器械の据付は既に終るは來年なるべし此製氷は水産會社と關係を有する由にて一般の工事に就き人夫を雇するもの多く港の設備を將來に思ふときは釜山の發展思想外に出づるものあるべし埋立測量を終りたれば拾石を投する等の起工を取急ぎ中なり

●陵園墓の整理

宮内府所管たりし陵園墓は其の内核字内墓地の内劃以内を内核字内と云ふ其の以外を外核字内と云ふ)を除くの外は総て國有に編入する事は曩に帝室有財産國有所屬の勅令内に規定せられたるを以て財産整理局に於ては目下其の限界決定に關し調査中なるが此の決定は韓國人の墓地に對する觀念を根本より變革せしむるものにして由來墓地に就ては更に期を見て詳細なる私見を陳べ樣と考へて居るが要するに政治關係の如何必ずしも貿易關係の盛否に伴ふ者に非ずで如何に政治的實力を有するも經濟界の信用關係迄左右し得るものでない例へば統監政治如何に韓國に對し歴史權を有するも經濟的貿易關係に於て又同一の優越權否信用力ありとは斷定出來ない法的効力が時と人と場所との關係に依つて支配されるが如く經濟的關係に於ても又此情勢あるを免れぬ次に製作品に就ては昨今粗製濫造の結果著しく其信用を失墜したる傾きあるを以て當會議所は極力其生産地に向つて之が矯正方を警告しつゝあるも兎角我商人は目前の個人的小利にのみ眩惑し國家永遠の經濟的信用を保維することを忘却するは甚だ痛嘆の次第である又製作品に付ても其仕向け地の慣習嗜好及び時期購買力如何を始終研究せねばならぬ(未完)

●仁川港輸出入額

本月中旬に於ける外國貿易額は輸出四萬二千六十圓、輸入五十四萬四千七百三十六圓、合計五十八萬六千八百四十六圓なり輸出品中最も多額なるは米の一萬四千九百二十一圓、大豆及小豆の一萬九十三圓にして輸入品は石油の二十萬六千五百二十圓、綿布の四萬二千六百七十三圓等なりし

●仁川民會延期

一昨日開會の筈なりし仁川民會は開會時間に至り遽かに議員中二名の病氣者出で折柄民長問題協議會を開くべき筈にて成べく多數出席を望む必要あるより止むなく延期するとなり廿四日開會するに決せり

●撰擧人名簿調製　京城居留民團の撰擧人名簿は八月十九日現在の資格者に基き調製中にて此れが調製事務は大に進捗し月末迄には完成する筈にて九月七八日頃より一般の閲覧に供することなるべしと云ふ

●鴻山定山間警備電話　架設中なりし同電話は此程竣成し八月十九日より通話を開始せり

●統營の狀況　鎮南郡統營地方は一般に平穏に歸したるも只固城及晉州に通ずる道路より北、東馬山浦より晉州に通ずる道路より南、西の間は我威力の全く及ばざる地區ありて其面積も稍々廣かりしが今日に於ては我官憲も之に注目する所となりしを以て旅行等何等危險なしと云ふ統營に於ける出入船舶は日を追て減少の傾きあり漁業は頗る不良なれども一ヶ月以後には良好となる見込なりと市場に於ける人員は大略日韓人合して三千餘に及べり而して三宅元二郎なる者の主唱にて一ヶ月二回發行の一新聞社を設立せんと協議中なり

●長箭浦近況　長箭店は江原道通川郡の最南に位し東西北の三面は山岳起伏して田畑は乏しく隨つて米穀野菜等の需用に最も困難なり南方一帯は長箭灣に瀕し海内水深く浪靜かにして海上不穩の際は時々艦船の避難することあり交通は御用船扇海丸月二回元山より定期寄港し何日韓丸も不定期に元山より海岸諸邑を經て寄港す郵便物は元山より陸路安邊、徐谷、通川を經て此地に來り通川へは隔日高城へは三日毎に往復す

●警視廳警部の内部出向　警視廳警部牧瀬伊右衛門氏は昨日内部へ出向を命せられたるが近々地方警察署詰を命せらるゝ筈也

公人私人

●岡田嘉藏(キリンビール商會理事)一昨日來京大貴樓

●淺井雅承(憲兵隊附一等主計)一昨日來京山本旅館

●近事片々

▲一雨　毎に秋風立ち朝夕は目切り冷氣を覺ゆ庭園の鈴虫松虫の啼く音ず最と面白し

▲黄昏　杖を城外に曳かば日暮の鳴蟬何となく秋氣に打たれ詩趣頗に湧き來る心地す

▲日中　東門外松林に遊ぶも快也空氣は清く晩望は佳時に徘徊を闘て逍遥に陰ふ亦快

▲東門　外電車の遵る所に小川あり清流にして水底明也小雜魚在往左還手捕すべき也深き處柳の蔭に釣を垂るるも面白し飯粒もて容易に釣上る亦日際の好遊場也

▲稍々　の野原一面に秋草あり自然に咲き出でる處却て趣きあり是を手折も興あり

▲此邊　妃の墓に詣でゝ十年以前の追懷に耽るも亦一興何れにして一日の清遊に適す

▲遊　會は三箇條を掲げて内閣總辭職を勸告しつゝありと事ら噂せらるる是れ事實乎

▲宮相　の强勸も其一箇條なりとの風說頗る

▲補助　憲兵地方に於ける暴行惨々甚だしとの評判果して然らば隨分厄介千萬の代物

▲地方　に依りては暴徒よりも怖ろしと

▲併し　始より此事あるべきは少しく事情を知るものは豫想せり今は只解散あるのみ

▲局に　當りては判らぬものか批評の必要ある之が爲也岡目八目とは千古の眞理なり

▲當局　者批評や輿論に耳を傾けざるとは

▲警視　廳存廢問題は九山總監轉任の噂と共に世の注意を惹くに至れり其成行や如何

▲水原　の京畿道觀察府を漢城府に合して漢城府に警察部を置くとの說もあり事實乎

▲漢城　府部内の警察部長には松井警保局長兼任すべしと警視廳の廢止は一時問題也

▲警視　廳よりも學部を内部の一局とする方が急務なり當局者此点告に傾聽せざるや

▲宋氏　内相となり未だ何等刮目すべき事をなさず奮勵一番之を決行しては如何や

▲新任　郡守にして地方人民に不人望なるものの多からずとの報道あり左もあるべき也

▲觀察　使をして撰擇せしむるが抑も誤り也賄賂請托の盛に行はるゝ蓋し當然ならん

▲土佐　に於て長さ八尺廻り一尺の色彩最も奇なる珍らしき大蛇を捕獲したりと云ふ

▲香具　師に賣るよりも好蛇家の目向輝武に賣込まんと照會せりと日向奇能を見込る

の良否が一身一家の吉凶禍福に大關係あり見て詳細なる私見を陳べ樣と考へて居るが要するに政治關係の如何必ずしも貿易關係の盛否に伴ふ者に非ずで如何に政治的實力を有するも經濟界の信用關係迄左右し得るものでない例へば統監政治如何に韓國に對し歴史權を有するも經濟的貿易關係に於て又同一の優越權否信用力ありとは斷定出來ない法的効力が時と人と場所との關係に依つて支配されるが如く經濟的關係に於ても又此情勢あるを免れぬ次に製作品に就ては昨今粗製濫造の結果著しく其信用を失墜したる傾きあるを以て當會議所は極力其生産地に向つて之が矯正方を警告しつゝあるも兎角我商人は目前の個人的小利にのみ眩惑し國家永遠の經濟的信用を保維することを忘却するは甚だ痛嘆の次第である又製作品に付ても其仕向け地の慣習嗜好及び時期購買力如何を始終研究せねばならぬ(未完)

●仁川港輸出入額　本月中旬に於ける外國貿易額は輸出四萬二千六十圓、輸入五十四萬四千七百三十六圓、合計五十八萬六千八百四十六圓なり輸出品中最も多額なるは米の一萬四千九百二十一圓、大豆及小豆の一萬九十三圓にして輸入品は石油の二十萬六千五百二十圓、綿布の四萬二千六百七十三圓等なりし

●仁川民會延期　一昨日開會の筈なりし仁川民會は開會時間に至り遽かに議員中二名の病氣者出で折柄民長問題協議會を開くべき筈にて成べく多數出席を望む必要あるより止むなく延期するとなり廿四日開會するに決せり

●撰擧人名簿調製　京城居留民團の撰擧人名簿は八月十九日現在の資格者に基き調製中にて此れが調製事務は大に進捗し月末迄には完成する筈にて九月七八日頃より一般の閲覧に供することなるべしと云ふ

●鴻山定山間警備電話　架設中なりし同電話は此程竣成し八月十九日より通話を開始せり

●統營の狀況　鎮南郡統營地方は一般に平穏に歸したるも只固城及晉州に通ずる道路より北、東馬山浦より晉州に通ずる道路より南、西の間は我威力の全く及ばざる地區ありて其面積も稍々廣かりしが今日に於ては我官憲も之に注目する所となりしを以て旅行等何等危險なしと云ふ統營に於ける出入船舶は日を追て減少の傾きあり漁業は頗る不良なれども一ヶ月以後には良好となる見込なりと市場に於ける人員は大略日韓人合して三千餘に及べり而して三宅元二郎なる者の主唱にて一ヶ月二回發行の一新聞社を設立せんと協議中なり

●長箭浦近況　長箭店は江原道通川郡の最南に位し東西北の三面は山岳起伏して田畑は乏しく隨つて米穀野菜等の需用に最も困難なり南方一帯は長箭灣に瀕し海内水深く浪靜かにして海上不穩の際は時々艦船の避難することあり交通は御用船扇海丸月二回元山より定期寄港し何日韓丸も不定期に元山より海岸諸邑を經て寄港す郵便物は元山より陸路安邊、徐谷、通川を經て此地に來り通川へは隔日高城へは三日毎に往復す

●警視廳警部の内部出向　警視廳警部牧瀬伊右衛門氏は昨日内部へ出向を命せられたるが近々地方警察署詰を命せらるゝ筈也

公人私人

●岡田嘉藏(キリンビール商會理事)一昨日來京大貴樓

●淺井雅承(憲兵隊附一等主計)一昨日來京山本旅館

●近事片々

▲一雨　毎に秋風立ち朝夕は目切り冷氣を覺ゆ庭園の鈴虫松虫の啼く音ず最と面白し

▲黄昏　杖を城外に曳かば日暮の鳴蟬何となく秋氣に打たれ詩趣頗に湧き來る心地す

▲日中　東門外松林に遊ぶも快也空氣は清く晩望は佳時に徘徊を闘て逍遥に陰ふ亦快

▲東門　外電車の遵る所に小川あり清流にして水底明也小雜魚在往左還手捕すべき也深き處柳の蔭に釣を垂るるも面白し飯粒もて容易に釣上る亦日際の好遊場也

▲稍々　の野原一面に秋草あり自然に咲き出でる處却て趣きあり是を手折も興あり

▲此邊　妃の墓に詣でゝ十年以前の追懷に耽るも亦一興何れにして一日の清遊に適す

▲遊　會は三箇條を掲げて内閣總辭職を勸告しつゝありと事ら噂せらるる是れ事實乎

▲宮相　の强勸も其一箇條なりとの風說頗る

▲補助　憲兵地方に於ける暴行惨々甚だしとの評判果して然らば隨分厄介千萬の代物

▲地方　に依りては暴徒よりも怖ろしと

▲併し　始より此事あるべきは少しく事情を知るものは豫想せり今は只解散あるのみ

▲局に　當りては判らぬものか批評の必要ある之が爲也岡目八目とは千古の眞理なり

▲當局　者批評や輿論に耳を傾けざるとは

▲警視　廳存廢問題は九山總監轉任の噂と共に世の注意を惹くに至れり其成行や如何

▲水原　の京畿道觀察府を漢城府に合して漢城府に警察部を置くとの說もあり事實乎

▲漢城　府部内の警察部長には松井警保局長兼任すべしと警視廳の廢止は一時問題也

▲警視　廳よりも學部を内部の一局とする方が急務なり當局者此点告に傾聽せざるや

▲宋氏　内相となり未だ何等刮目すべき事をなさず奮勵一番之を決行しては如何や

▲新任　郡守にして地方人民に不人望なるものの多からずとの報道あり左もあるべき也

▲觀察　使をして撰擇せしむるが抑も誤り也賄賂請托の盛に行はるゝ蓋し當然ならん

▲土佐　に於て長さ八尺廻り一尺の色彩最も奇なる珍らしき大蛇を捕獲したりと云ふ

▲香具　師に賣るよりも好蛇家の目向輝武に賣込まんと照會せりと日向奇能を見込る

日韓及び對清貿易に就て

(月叶京商會記長談)

業會議所書記長の談話を記せんに財政に伴はざる政治は雰なるが如く經濟的發展に伴はざる殖民政策は又た雰なるを免れず從て我日本が韓國に對する使命を完ふせんと欲せば最も此點に於て注意を要すべき事である統監政治は果して吾人の理想とする所と一致するや否やは姑く措き彼の拓植會社の如き將た韓國啓發は經濟的實力發展に待つべき事を當局官憲も認めた結果ではあるまいか想ふに今後の統監政治は從來の形式美にのみ流れず實質上の治績大に見るべきものあらうと期待する勿論此一者設立の義に就ては當商業會議所の如き風に率先し又在韓聯合會に於ても再三請願を爲し來つた併し這回事實上此設立に盡力されたるものは伊藤公始め桂侯である

イヤ實際の發起者は會頭副統監であるの世人は拓植會社の如き其主唱者たる桂侯のみを知つて實際の發案者たる本尊の會頭を知らない者が多い……閑話休題。

●韓貿易の盛否如何は直ちに以て統監政治の實力如何を卜するに足らざるも我經濟的勢力の上に大なる關係を有する事は言を俟たない事である余は自己の立場として否寧ろ商業會議所の職責として此點に深き注意を常に拂ふと同時に諸他の方面に向つても研究して居る而かも開は(一)政治上及び(二)製作品(三)關稅の三點より調査論究する必要があると思ふ之に就ては更に期を遂て詳細なる私見を陳べ樣と考へて居るが要するに政治關係の如何必ずしも貿易關係の盛否に伴ふ者に非ずで如何に政治的實力を有するも經濟界の信用關係迄左右し得るものでない例へば統監政治如何に韓國に對し歴史權を有するも經濟的貿易關係に於て又同一の優越權否信用力ありとは斷定出來ない法的効力が時と人と場所との關係に依つて支配されるが如く經濟的關係に於ても又此情勢あるを免れぬ次に製作品に就ては昨今粗製濫造の結果著しく其信用を失墜したる傾きあるを以て當會議所は極力其生産地に向つて之が矯正方を警告しつゝあるも兎角我商人は目前の個人的小利にのみ眩惑し國家永遠の經濟的信用を保維することを忘却するは甚だ痛嘆の次第である又製作品に付ても其仕向け地の慣習嗜好及び時期購買力如何を始終研究せねばならぬ(未完)

●仁川港輸出入額　本月中旬に於ける外國貿易額は輸出四萬二千六十圓、輸入五十四萬四千七百三十六圓、合計五十八萬六千八百四十六圓なり輸出品中最も多額なるは米の一萬四千九百二十一圓、大豆及小豆の一萬九十三圓にして輸入品は石油の二十萬六千五百二十圓、綿布の四萬二千六百七十三圓等なりし

●仁川民會延期　一昨日開會の筈なりし仁川民會は開會時間に至り遽かに議員中二名の病氣者出で折柄民長問題協議會を開くべき筈にて成べく多數出席を望む必要あるより止むなく延期するとなり廿四日開會するに決せり

●撰擧人名簿調製　京城居留民團の撰擧人名簿は八月十九日現在の資格者に基き調製中にて此れが調製事務は大に進捗し月末迄には完成する筈にて九月七八日頃より一般の閲覧に供することなるべしと云ふ

●鴻山定山間警備電話　架設中なりし同電話は此程竣成し八月十九日より通話を開始せり

●統營の狀況　鎮南郡統營地方は一般に平穏に歸したるも只固城及晉州に通ずる道路より北、東馬山浦より晉州に通ずる道路より南、西の間は我威力の全く及ばざる地區ありて其面積も稍々廣かりしが今日に於ては我官憲も之に注目する所となりしを以て旅行等何等危險なしと云ふ統營に於ける出入船舶は日を追て減少の傾きあり漁業は頗る不良なれども一ヶ月以後には良好となる見込なりと市場に於ける人員は大略日韓人合して三千餘に及べり而して三宅元二郎なる者の主唱にて一ヶ月二回發行の一新聞社を設立せんと協議中なり

●長箭浦近況　長箭店は江原道通川郡の最南に位し東西北の三面は山岳起伏して田畑は乏しく隨つて米穀野菜等の需用に最も困難なり南方一帯は長箭灣に瀕し海内水深

の新鮮 新柄ゑり地帶あげ其他種々 間御散歩御來觀被下度候 允 ゑり 德商店

○土耳古金回煙草GD インペリアル 茶褐色 スポルト 各種

京城代理店 歐米雜貨商 京城本町六丁目 吉 岡野商店 電話(五七一番)

●紙幣を種の詐偽

茨城縣水戸市上市鹽匠町五番地現住居明治町三丁目八番地無職相澤正吉(ハ)大阪市西區京町堀上通町三十五番地現住居大手町二丁目無職小林重五郎(ヒ)大阪市南區難波稲町二丁目九百十番地現住居西小門通小和商會内大木字乙助(ヨ)東京市南葛飾郡小松川村四千四百四十五番地現住居明治町三丁目八十三番地嶋島毅一(ヒ)の四名は去る十八日午後九時頃南部警察署の手に捕縛されたるが顯名は詐欺取財未遂なるが今其の顚末を左に記せん

彼等犯人は第一銀行券約一圓紙幣十五萬圓を先き頃大阪より密輸入したりと稱し一圓を五十錢に賣買する手段を講じ竹園町賣屋小栗茶吉を介して南署後洞八十七統十戸李鳳鎬に賣りつけんと談判したるに李は二千圓丈け買ふことゝなり取引の場所を大手町田舎屋なる料理店の二階と定め去る十七日夜八時頃會合せんとの話を極めて立別れたるがサテ當日にいたり相澤は小林、大木、嶋崎の三名と同伴し田舎屋に赴き待ち居たりしに肝心の小栗及び李には少しく取り込みありと稱して來たらず依て空しく家に歸りたるが翌日は明治町料理店狹島樓松谷ヒイ方にて同時刻を期し會合することゝなしたりサテ十八日の夜小林と嶋島とは各々釘付箱一個を所持し獨て勾束の場所たる明治町の狹島に赴きたるが其の際小林は相澤をして同樓に入る道路に潛伏せしめ大木をして其の入口に立番せしめ用心に用心を加へて密かに小栗及び李の二人の來るを待ち構へ居りしが話纏つて此方は小林及李の二人は時刻に遅はすまじとて狹島樓に赴かんとす途中に相澤は急いで狹島樓に赴き待ち居たる大木に二名のものが同樓の二階に上るを見屆けマヅ第一に件の道路に潛伏しつゝありし相澤を捕縛し尚大木を捕へんとせしに同人は早くも逃げの意を決し正に逃げ去らんとするを所を聚押へつゝいて二階に踏み込み今や小栗及び李が件の金を取引せんとする所を御用の一聲と共に難なく捕縛したりといふ因に十五萬圓の密輸入紙幣といふは紙幣に非ず新聞紙を手形と偽形に切り厚く重ね其上を油紙等にて際く包み糸にて纏束したるものにして値段としては十錢にも足らぬ數個の新聞紙の包みものあり斯くて一束を五百圓として前記の李と二千圓の賣買を約し相方受取りたる上若し李に於て不穩の行動ある時には前記大木、相澤の二名は警官に發ひ小林及び嶋崎を引致する風態にして其に俱に逃走するの企なりしと尚は被害者等の申立を聞くに小林は相澤の教唆により斯くは惡奈を起したるものなるが大木は小林、相澤二人の仕待を受け是非來て呉れよと加勢を頼むとの事にて加入したるまでにて捕縛又は名刺など持參したることなく又嶋崎は十六日相澤に久し振りにて邂逅したる際相澤より僕は韓人四名日本人一名に夫れ取引の關係あるも彼等の亂暴なる到底敵する能はざれば何分應援し呉れよとの事に斯くは小林と同伴したるなりといふ

●白蓮花 (四)

斯くて春子は知人の世話にてある南班の家庭教師にとは仕み込みしが家人の氣受けも極めてよく從つていとも愉快に氣も晴々と吁々定めなき明日をも知らぬ人の行末折角春ながら此の適當なる家庭教師に雇はれてより僅か四月と經たざる中に儘ならぬ浮世の習ひ爰に端なくも春子をして又々小さき胸を痛めしむるの時機に會せしめたり所は春子が夢さら身に覺えなき聞くも忌はしきみだらなる噂さの何人のそしり言より出でしにやパッと世間の人の口の葉に上り「ヤレ那の女は莫迦者なり」とか「淫を禁く女なり」とかの評判ソコ等此所等に擴まり果ては春子が職を奉じ居る家人の耳にも入りたれば春子は道悔やる方なく漲る胸の口惜しさに机にもたれて涼き明かせしことも屢々ありしが併し此れも身に覺えなき事とはいわつマリは自分の不德より招きし罪ソレに斯く好ましからぬ噂の立ちし以上は一時たりとも此の家に居るは忍ばしからずと先きに心配し呉れし知人に其譯を開かし斷然其の職を辭するに至りたりサテ其の後春子は間もなく又ある知人の周旋にて前號記せし通り同德義塾に教職を奉ることゝなりたるが又々不思議なことにはソコにても忌はしき噂を立てられ女心の昨今は如何に自分が若き身空の夫なき身体とはいへあまりといへばあまりの因果と悲嘆の涙に掬きて春子未亡人が此の忌はしき噂さを立てられたる原因を知るに由なきも要するに火の有る處必ず一片の煙あるを以て今は努めて之が世上の噂を打ち消さんことに心掛くると共に今後は此等の噂を世人より立てられざるやう意を用ひられたきものなり

●淺田商店の猾策

他の商店を陷る

仁川宮町なる淺田商店は成歡、天安、靈山地方に支店を有し日用雜貨商を營み居れるが近頃の不景氣にて損失のみ來すより一策を廻らし同地方に於ける酒保商人が軍隊と結托して不當の利益を占めつゝあるが如くに仁川商業會議所に申告し又た地方の店員等の申立を聞くに小林は相澤の教唆により斯くは惡奈を起したるものなるが大木は小

●在留禁止

晋川縣小豆郡豊田村平民現住居旭町二丁目石工山口龜吉(ヨ)は此度安寧を妨害するものと認め向二年間在韓を禁止せられたり

●自殺未遂(井戸投身)

昭義門通り十九番戸平民嶋島虎吉(ヨ)は去る二十日午後十一時西部培材學堂前の井戸に身を投じ自殺したれば直ちに駆け付けた時は既に溺死し居りたるを爲め遂に事實として各新聞に掲げらるゝに至れりと之を以て淺田商店に於て此機會を利用して其事業の擴張をなさんものと密かに相澤に久し振りにて邂逅したる際相澤より僕は韓人四名日本人一名に夫れ取引の關係あるも彼等の亂暴なる到底敵する能はざれば何分應援し呉れよとの事に斯くは小林と同伴したるなりといふ

●薄命なる酌婦

生れは何處か白浪の岩に碎けて花と散る茲南大門は電車通り番戸飲食店清原キヨ方屬酌婦岡ミサヲ(ニ)なる何魔ッチヨは去月十九日八十圓の前借にて同店に住込み例の商賣をなし居る中東大門外紅葉町吉田石材店の雇人松浦岩太郎(三)なるものと深くなりて妾しや貴郎の女房じやもの何の浮氣なぞして外に男を持ちまゝ歸り來らざるよりキヨは大枚八十圓の代物を逃してなるものかと青くなつて狼狽出し鵜の目鷹の目にてキヨロ〳〵と心當りや道行く女を捜したるに十九日ミサヲは岩太郎の住家に潛みモシれ鵜さん今日の米がないからドウしますへ何かんと夫婦氣取りで巫山戯居る所を捜し當てミサヲを連れ歸りと之で安心アー暑かつた團扇で風を入れたるに一昨日の夕刻に至り岩太郎は同業の森一松(五十)なる者を伴ひキヨ方に押し掛けミサヲは奉公したくないから俺が引取ることにするが前借の八十圓は後日支拂ふに依とにするが前借の八十圓は後日支拂ふに依とにしては今二十三日午前九時より日曜學校を開き同十時より神與と題する宗像國四郎氏の禮拜說教あり

●鬼の如き母

中署帽谷といふ所に住する柳昇東とて郡守の職を奉じて金川郡に在勤し居れり此柳に一人の娘あり十二歳の時良緣ありて現今叅奏官を勤むる李某に嫁ざたるが如何なる事情ありて李は其娘を嫌ひ尋ら花柳の巷に遊び或る妓生の色香に溺れ其妻を顧みざること十餘年に及び最早二十一の花盛りの年となる迄深閨にありて獨り夫の無情を嘆ち居りしに如何なる魔風や吹き誘ひけん或る口他の男と仇し契りを結びしが因果の種となりて妻の腹に宿り今

●酌婦の隱れ家判る

太平町二丁目十四番戸飲食店清原キヨ方屬酌婦岡ミサヲ(ニ)なる何魔ッチヨは去月十九日八十圓の前借にて同店に住込み例の商賣をなし居る中東大門外紅葉町吉田石材店の雇人松浦岩太郎(三)なるものと深くなりて妾しや貴郎の女房じやもの何の浮氣なぞして外に男を持ちまゝ歸り來らざるよりキヨは大枚八十圓の代物を逃してなるものかと青くなつて狼狽出し鵜の目鷹の目にてキヨロ〳〵と心當りや道行く女を捜したるに十九日ミサヲは岩太郎の住家に潛みモシれ鵜さん今日の米がないからドウしますへ何かんと夫婦氣取りで巫山戯居る所を捜し當てミサヲを連れ歸りと之で安心アー暑かつた團扇で風を入れたるに一昨日の夕刻に至り岩太郎は同業の森一松(五十)なる者を伴ひキヨ方に押し掛けミサヲは奉公したくないから俺が引取ることにするが前借の八十圓は後日支拂ふに依とにするが前借の八十圓は後日支拂ふに依とにしては今二十三日午前九時より日曜學校を開き同十時より神與と題する宗像國四郎氏の禮拜說教あり

●牛肉から喧嘩

美洞三統一戸南聖(十二)公洞居住金老馬(十二)の兩チョンガーは一昨日午後遊宅の近所にて冗談から喧嘩を始めし所を巡査に見咎められ引分れたり

●日曜學校

日の出町なる京城基督教會にては今二十三日午前九時より日曜學校を開き同十時より神與と題する宗像國四郎氏の禮拜說教あり

●京城座の無盡開き

京城座は齋町二丁目より本町七丁目に移し從前に改築を加へたるを以て大阪下りの中村長右衛門一座にて明日花々しく興盡開きをなし引續き開場すると云ふ

●歌舞伎座の乳姉妹再演

歌舞伎座に於ける伊東一座の乳姉妹過日演せしが非常の好評なりしを以て本晩も之を再演することゝしたり尚同一座は本晩を以て千秋樂と

●一昨夜の自然主義者

一昨夜新町に飛び込んだる自然主義者は松葉五大桝十二高島四山遊一月下六京城十第一本十一清月七皆春十三南山六第一支九井門九合せて八十六人精養類は四百八十四圓六十錢なりと

▲▲▲次回小說豫告▼▼▼

……夏季の好讀物……

連日江湖の喝采を博しつゝある、悲哀小說「新不如歸」はいよ〳〵本日を以て全編を了り、名殘り惜しくも大方の讀者諸君をして、悽惋沈痛の餘情綿々として長へに禁ずる能はざらしめんとす、依つて本紙は更に從來の作者篠原嶺葉氏に托し「皐月闇」なる長編を掲げんとす、筋書は明治最近に於ける或る華族の、家騷動を脚色したるもの、構想怪奇、情趣幽愴、或は佳人暗涙に咽び、百鬼夜陰に嘯やき北夫世道を慨する等、波瀾重疊、變化多樣、克く現今上流社會の裏面を孤羅剔抉して毫も餘蘊なし若し夫れ作者洗練老熟の筆と、優婉華麗の詞とに至りては既に業に讀者の熟知する所、所謂情想、文彩兩ながら相俟つて正に錦上花を飾り、花下雪を飛ばすの美觀を呈するべし、請ふ讀者刮目して、掲載の日を俟ち、之が內容と實質とに就て徵せられんことを

▲▲▲次回小說豫告▼▼▼

……夏季の好讀物……

韓人二名の爲め救助せられて命を取止めたり西部警察署にては此急報に接し警官出張取調べの上身柄は虎吉の家族に引渡されたり虎吉が無分別の企てをなしたる原因に就て聞く所に依れば虎吉は八九日前より精神に異狀を來し取止めなきことを口にするなど擧動怪しきを以て家人等は大に警戒を加へ居たる所同夜に限り家中人少かりしかば其隙を窺ひ家出したるものにて虎吉は夫より前記の井戸の邊に來りて四邊の狀況を見廻はすなど如何にも怪しき擧動なるより通りかゝりたる李範熙(三)と韓準國(三)の兩人に密かに其模樣を窺ひ居たるに夫れとも知らぬ虎吉は其着衣を脫するより必要投身と殺を謀りたるも傍らにありて之を認めたる

サッポロビール

開業廣告

今般漢城病院眼科部長を辭し左の所に開業す

京城本町一丁目郵便局前

醫學得業士 江頭富雄

先般漢城病院內科部を辭し歸省中の處歸京左の所に於て診療に從事す

理事廳前

統監府通信管理局囑托醫學得業士 池田季雄

電話開通 三八七番

蠟引新式機械應用

統監府 御用達

各官衙 宮內府

京城南山町三丁目 坂洗濯舖

電話開通 六八四番

京城曙町一丁目 石川辰次郎

表具師

美術書畫 襖、壁、天井張

京城蓬町一丁目 桂萬吉

電話開通 三八拾五番

永樂町一丁目(駐劄病院上手)

產婆 伊集院カネ

漢城病院を辭して開業

京城南山町第一銀行横町

醫科大學專攻

統監府囑託 飯塚徹

仁川分院○仁川病院前電二四六五 十の日飯塚徹出張

仁川主任東京共立齒科醫學校前講師 藤井庄次郎

京城 株式會社第五十八銀行

電話番號五十八

資本金三百萬圓

爲替取組先

大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八幾內 木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、東京、横濱、千葉、大磯、甲府、鰍澤、靜岡、清津、濱松、豊橋、名古屋、牛田、熱田、岡崎、四日市、津、山田、桑名、松阪、

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、多治見、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、

北陸道 若松、仙台、青森、秋田、七浦、能代、小濱、福井、敦賀、越江、金澤、大聖寺、高岡、富山、八木、新潟、

山陰道 宮津、舞鶴、新鄕、鳥取、米子、境、松江、濱田、久手、大田、宅野、

山陽道 龍野、明石、赤穗、姫路、西大寺、福山、鞆、府、尾道、三原、呉、宇品、

南海道 敷、笠岡、庭瀬、高梁、玉島、西江原、倉廣島、岩國、中宮市、三田尻、德山、小郡、山口、柳井津、平生、長府、小月、下關、萩、

西海道 串、御坊、田邊、新宮、和歌山、岸の浦、鷹、州本、撫養、德島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、郡中、西條、松山、三津濱、高知、

東海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、長濱、大分、湊、島原、佐世保、唐津、伊萬里、牛津、呼子、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、

北海道 函館、臺北、臺南、

台灣 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、

清韓國

銀行一般の業務精々便利に取扱可申候

差押保證金訴訟印紙料

凡て訴訟費用便利御用達可申に付精々御利用被成下度候

京城長谷川町一丁目 和泉法律事務所 坂本兵太郎

富本半平の身上（一）

親に似ぬ子は鬼ッ子といふ事がムいますので手前も親と見習つてドウ〳〵相成ました手前の親父と申しますのは素藍甲屋で可なりの生活を致して居りましたで根がヤカ〳〵の藍屋者で年が年中遊びに浮身をやつし果ては浮世を三分五厘……落にして驚くといふ氣を起したのでムいますが夫れには翁間が一番希氣な者つて宜からうと其翁古は取掛りました……親父を惡くいふ譯ではありませんが餘り褒めた心掛けの人で無かつたに相違ありませんテ手前は此れでも日本橋田所町で生れ彼のろから名高い神田の井戸で産湯をつかたチャキ〳〵の江戸ッ兒でムいます親父が神田の德屋町から廳前の富坂へ引ッ越し浅草の千束町に落ち付いた時分には手前も宜い若い者になつてチャンガチャカ〳〵と道具に音を立て〳〵一生懸命稼業に精を出して居りました親父の翁固志願は此千束町に越して來てからで素人の方にれ聞かせ申したらーント御信用にならん機なれ噺でムいますが實地の事ですからマア聞き下さい

親父は翁間にでもならうといふ氣の男でしたから秘つて居たには違ひないが親母も隨分希氣に生れ付いたのですナ伸を始め宜い若い者の弟子共が一生懸命稼業を勵んで居る側で親父は親母の三味線で踊つたり跳ねたり夫れは〳〵大騒ぎをやらかして居るのですから夫れも酒機嫌か何かで偶にやるのなら世間體も宜しうムいますが全くの眞面目で朝から晩迄……毎日と來て居るのですから手か付けられ無いぢやアありませんか稼業物の道具の音チャンガチャカ〳〵でさへ宜加減騒々しい所へ持つて來てペンシン〳〵といふ三味線の根じめに孫でも無い親母の暇喉ドタンバタンといふ不調子な親父の足拍子で攻め立てられるのですから堪りません隣家近所は大概逆上せ上つちまつて中には其處から引ッ越した人なんかあつた位でした

其處で今のたしめ姐さん（今の有名なたさだの姉）家の親父が或女の所へ來て「如何だいあねゐ千束町にもトウ〳〵狂人が出來ちやつたナ」など〳〵いつた位で誠に本氣の沙汰ぢやアありませんでした夫れでも一心といふものは恐しいもんで親父も如何やら斯やられた茶が濁せる程の惡を覺ゐ込んで兼て志願の翁間で押し出しました同時に千束町の家を憑んで此新吉原に移つて參りましたが八ツ新なつて見るとつまら無い氣がするのは手前で何だ馬鹿々々しい幾程此俺が精を出して稼業を勵んで見ても親父があのザマぢやア張合が抜ッちもう此奴ア一番俺も親父に敗けない樂なウンと遊樂をれッ始めて親父や親母に一と泡吹かせてやらうと碌でも無い決意を起しました

▲京城辯護士案内▼

辯護士 明法學士 前代議士 高橋章之助 銅脈三十三統五戸（明治町矢當）電話二五六 事務所 本宅 京城本町五丁目 電話一二四（長距離）

辯護士 大久保雅彦 京城旭町二丁目（電話八三九）

辯護士 莊子斌 京城理事廳前

辯護士 皆川廣濟 京城南山町一丁目山王（電話八五七番）

辯護士 岩田仙宗 明治町二丁目七十五番戸 佛國教會表門前（電話三五四番）

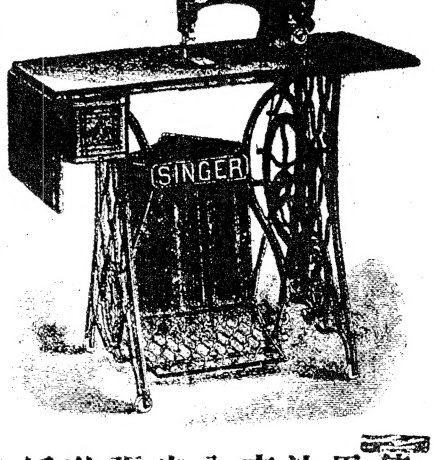
辯護士 藤井太郎 本宅 京城東大門外安東通 事務所 京城旭町二丁目

御披露

御待兼ネノ
家庭用
手ミシン
婦人内職用
手ミシン
家庭用
キヤビネット形
三個或ハ五個抽斗付キ

右品切れの處到着仕候間御用命の程奉希望候

京城西小門内
シンガー裁縫機械會社



使用法市内出張教授

謹告
本人次男砌元儀（十九年）過般來無賴漢の群に投じ外債を要求致候由内外國人の恐かること無き様爲念讓告仕候也
溫陽郡居 趙鍾高 告白

電話開通 五七四番
統監邸御用 加 柄澤洋西洗濯所
六和町三丁目 統監官舍東隣

山田流 琴曲 新式 改授
牛田流 音譜
南山町三丁目八番戸
伊藤靜代子

西洋洗濯業
旭町二丁目理事廳裏
伊丹屋
セル、ラシヤ、和洋服（電話三七四番）

明法學士 訴訟代理人 小川勝平 事務所 京城本町二丁目（電話四壹番）大邱東門外

貸地
龍山元平式院前軍司令部拾五間道路左側約五千坪
但し五十坪を一區として割貸
右將來多望の地貸附申度候條御希望の御方は左記へ御來談被下度候也
京城明治町一丁目 森村太郎
京城本町二丁目 林田金次郎

石材大販賣
品質の優等なる江華島産を凌ぎ運搬の至便なる京城第一也
開業爲御披露特別廉価大割引を以て可應貴意候也
京城永樂町 赤門前 土木建築 測量設計 堺事務所

諸官衙用御品調達
營業目 紙類 書籍 印刷附屬品 印刷インキ 防腐ペシン 穀物 食鹽 織物 染料
各學校用品調達
幷に委託販賣
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京 京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二
京城西小門通 アラーアンス商會代理店
横濱百七番 ビューメンドライ商會代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
山形縣鹽合資會社食鹽特約店

▲京龍醫師案内▼

入院隨意
京城壽町三丁目（元阪井病院跡）
高井醫院（電話二二六番）
院長 陸軍二等軍醫正 高井貞治

電開話通 三七八番
京城壽町三丁目清水材木店跡
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信
入院隨意

見習者諸嫌樂す希望者は本人來あれ
日韓病院
新皇城 大漢門前

入院隨時
内外科 少兒科 安東病院 京城旭町一丁目 電話九一三
産科 花柳病 院長 安東貞一郎

京城西小門通り
京城醫院分院
院長 菅恒

内外科 眼科 婦人科 小兒科 吉田病院 南山町三丁目
入院隨意 診療叮嚀

●●入院隨意●●●
京城本町七丁目
小川病院 電話六五三

●●入院隨意●●●

京城本町三丁目（五十八銀行横隣）
歯科治療
西科医學士 野田鐵治

内科 外科 婦人科 入院隨意
京城南山町二丁目
植村病院（電話三三〇）

産科・婦人科・小兒科
京城本町八丁目
山崎病院
醫科大學産科 婦人科專攻 醫學得業士 山崎宗三

一消毒牛乳
御高評に背かず益眞正純良の品差上可申候

韓國畜産株式會社
京城南大門外
電話八八番

電話開通四九壹番
東京生搾
京城壽町三丁目（高井醫院東隣）
東京庵

西洋御料理宴會
日本人倶樂部
京城南山町三丁目（電話一二三番）

洋室新築落成御披露
時下酷暑之候大方諸彦には益々御勇健奉大賀候降而弊家皆々様の御引立を以て日に增し繁榮に赴き候段難有奉拜謝候就ては江湖諸彦の御眷顧に酬ん爲め新に洋室を增築し尚左記の樂器を備へ置遠宜娯樂に供すべく候間時節柄清涼の慰安とも可相成候へば陸續御光來被下度偏に奉希上候也
一琵琶　一笛　月琴　バイヲリン　琴　尺八　碁　將棋
但席料は一時間五十錢二時間以上は三十錢增三時間以上は一時間毎に二十錢增にて申受候事
木町二丁丁北裏支那領事館前
春日

原金旅館
本店 仁川理事廳通（電話三二番）
支店 京城南山町（電話一〇七番）

民刑訴訟鑑定 京城本町一丁目
登記漢城府手續 諸願屆代書 民役所前
土地鑛山測量 岡田事務所
集金取立代辨 土地家屋賣買金錢貸借其他諸般ノ仲介 取次電話六二四

トルコ煙草日希商會
京城本町一丁目
右嶽新純良品特別廉價販賣仕候間續々御用向ノ程奉希上候
トルコ煙草日希商會
D.C.(MENEASCO)

直輸入外國莨御披露
トルコ紙巻 エジプト紙巻
ハバナ葉巻 マニラ葉巻
其他パイプケース等附屬品一切

日本郵船株式會社
瀬船 仁川出帆廣告
仁川海岸通 郡回漕會
京城南大門通 巳商店 電話三〇六番
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 八月三十日 後三時出
●大連・大沽・牛莊行 高砂丸 八月廿七日 後一時出 山東丸 九月十五日 前五時出
●大連・大沽・牛莊行 酒田丸 九月十日 後一時出
●釜山出帆・元山清津・浦鹽行 弘前丸 九月二日
●新聞料 ●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲廣告五號活字十九字詰一行一回五十錢 ▲發行兼編輯人 秋山忠三郎 印刷人 高木久馬太 發行所 京城西壽小門通 京城新聞社 電話六六三番